

足立 革新懇

第32号

2024年1月1日（月）

連絡先：足立区労連

TEL:3887-8140

3つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

平和・民主主義・暮らしを守る一区内各地で広がる共同の取り組み

2024 謹賀新年

岸田自公政権の
金権腐敗政治ストップ、
国民の暮らしを守る政治の実現を

本年もご支援ご協力お願い致します

足立革新懇世話人一同

岸田軍拡ですすむ戦争する国づくり — 沖縄・日本の実態 —

— 高良鉄美さん(参議院議員)を講師に開催



足立革新懇学習会

食い止めよう

軍事国家への道

11月18日、参議院議員（会派「沖縄の風」）、琉球大学名誉教授の高良鉄美さんを講師に足立革新懇学習会が行われ、30人が参加しました。以下講演の概要を紹介します。

憲法前文は「日本国民は、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し…この憲法を確定する」としている。戦争を起こさないことは主権者である国民の責任なのである。

沖縄では住民避難の訓練をするが、島民疎開は生活・文化・社会面での島の破壊である。宮古島では陸上自衛隊配備に対する住民説明会を市長、市議会、市民団体等で要求したが、沖縄防衛局は拒否している。石垣島まつりの文化祭典で自衛隊が初めて迷彩服姿で行進した。宮古島では島中に自衛隊部隊が展開している。現代の戦争では、基地へのピンポイント攻撃が正当化される。昨年11月の日米軍事共同作戦で、米軍は機動展開前進基地作戦（EABO）の訓練を実施した。攻撃対象をわからなくするために部隊が移動するのだが、返って沖縄全体が攻撃目標になる。再び沖縄が「捨て石」にされるのではないか。

進む戦争国家づくり

「防衛産業支援法」が成立し、途上国などへの武器セールスのためにOSA「政府安全保障能

力支援」がつくられた。軍需産業を育てる方向に日本経済の構造を変えようとしている。平和憲法は戦後、軍事的国家負担が少なく、社会や労働者が平和産業に専念し、官民挙げた努力の結果、世界第2位まで経済を発展させた。しかし岸田内閣が進める軍事優先国家の向こうに見えるもの、戦争で破滅した国土である。

憲法97条には「基本的人権は…現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたもの」と書かれている。国連憲章にも「戦争の惨害から将来の世代を救い」とある。子どもたちが平和な未来に暮らせるようにしなければならない。

高良さんのわかりやすく熱のこもったお話しに、参加者はあらためて戦争の準備に反対し平和な日本を後世に残す決意を固めました。会場からは「戦争をやめるチャンスは3回あったの具体的なお話は、授業を聞いているようでとても勉強になった」「沖縄のことは私事として考えなければいけないのだと思った」などの感想が寄せられました。沖縄の闘いへの会場カンパ2万円が集まり、高良さんに託すことができました。

(事務局)



NO WAR WOMENs ACTION

原水協6・9行動&足立母親大会連絡会赤紙配りと共同行動

12月6日(水)、北千住西口デッキで原水協6・9行動&足立母親大会連絡会赤紙配りと共同行動でNO WAR WOMENs ACTION 1がおこなわれました。ピースフラワー合唱団の平和の歌声をバックに、新婦人、区職労、区労連、原水協、母親連絡会、日本共産党区議団などから8人がアピール、核兵器禁止条約に署名批准を政府に求める署名が24人から寄せられました。

赤紙やチラシ入りティッシュの受け取りも、核署名での対話も高校生や青年が多かったのが特徴でした。「ガザの攻撃を直ちに中止し、停戦を」「子どもたちを殺すな」の横断幕を見て、仕事着を来て通りかかった若者は「頑張ってください」と言って、チラシ入りティッシュを受け取りました。すでに、1万7000人以上がイスラエルの理不尽な武力攻撃で亡くなったり、負傷している7割が女性と子どもなど民間人で国際人道法違反であり、到底許されないと心からの訴えが広がりました。

「子どもを殺すな!」「女性を殺すな!」「日本政府はイスラエルとパレスチナの仲裁を!」と、イスラエル大使館や日本政府・首相官邸のファクス番号が紹介されている新婦人しんぶんなども配布しました。足立から日本政府や世界へ、イスラエル政府やアメリカ政府へ一日も早く子どもたち・女性を殺させないの声をとどかせましょう。

(事務局長)

西新井 宣伝行動

ガザの子どもたちを殺すな 即時停戦の外交努力を!

11月2日、西新井アリオ前で足立革新懇、新婦人足立、区労連、民青、9条の会、足立母親

連絡会、放射能から子どもたちを守る市民団体など10人で緊急署名宣伝行動を行い、「憲法改悪許さない署名」「くらし・平和を守るために大軍拡・大増税反対署名」に7人から戦争ノ

の願いが寄せられました。幼い女の子を連れたママは立ち止まって署名、通行人もチラシ入りティッシュを次々と受け取り、18日の革新懇主催の学習会のチラシを配りながら、「沖縄の国会議員が沖縄の実態を話してくださいますよ」と呼びかけ、小・中・高生にも渡し

ました。通行中の人は「あなたたちが言っていることに賛成です」と署名、歩きながら聞いている

人もたくさんいて、いつになく反響がありました。

新婦人は、「ガザの子どもたちが次々と殺される現状は悲惨です。直ちに停戦を!日本は一日も早く核兵器禁止条約に署名・批准を」と訴えました。

区労連からは、「30年間賃金が上がらない日本で良いのか。物価高に見合う賃金に。岸田政権は5年間で43兆円もの予算を軍事費に使うというが、イスラエルやロシアのように一度戦争になったら大変なことになる。『軍事対軍事』では解決にならない。外交で解決して!」。

民青の若者は、「今、自分がやりたいことができるのは、平和だからこそ!」と訴えました。足立母親大会実行委員会からは、「罪もない子どもたちが殺されている、イスラエルはただちに停戦を!」と訴えました。

(事務局長)

立ち止まって署名



おしゃべりから始めるジェンダー入門 ~男性から見た生きづらさ~

L・フェスタ2023あだち



足立区女性
団体連合会
は、11月11
日の2日
間、男女参
画ブラザで

「L・フェスタ2023あだち」を開催、「考える」「見る」「楽しむ」「体験する」などのイベントの中から「考える」を選び、表記の講座を企画した様子です。

講師の清田

隆之さんは「恋愛とジェンダー」をテーマに「コラムやラジオなどで発信され、若い人たちに人気のある方で、文筆業、恋ハ

ナ収集ユニット「桃山商事」の代表者で、大学生や若い人たちが多数参加しました。「大学時代にたくさん女性の代表者で、恋愛の相談を受けたのをきっかけに作ったのが『桃山商事』というサークルです。恋愛の相談は圧倒的に女性が多いが、男性からの相談も増えてきています。男性を取り巻く状況から、男性ならではの問題も出てきていて、『男性性』をどう考えているのか、『恋バナの男たち』には800のエピソードを書いていきます。男性からの相談では「別れた恋人の事が忘れられない」「相手に何を言っているかわからない」など、具体的な例を出して話されまし



ピースアクションin北千住

にぎやかなパレードと一言トークで盛大に

千住9条の会が中心となり、区内の市民団体や千住9条の会の役員など20人が呼びかけ人となって、「憲法9条を私たちの手で守り生かそう！ピースアクションin北千住」実行委員会としてとりくんできました。

11月3日、千住中居町公園でブレ集会后、千住ほんちよう公園まで笛・銅鍋・音の出るものを鳴らしたパレード、その後、北千住駅西口デッキで、「この国を変えるのは、私たち 人間の鎖大集会」として、沖縄舞踊、トランペット演奏、歌、市民の一言トークを行い、平和を願う100人を超える人が声を上げました。



市民が声を上げれば社会は変わる

岸田政権がこのまま続けば、本当に大変な事態になると思う。みんなで『戦争反対！』の声を上げ、岸田政権を追いつめていこう」と訴えました。続いて、新日本婦人の会足立支部横川支部長は、「みなさん、ピースアクション

満州に行き自分もそこで生まれながら、終戦直前には子どもも中国に置いてこざるを得なかったり、集団自決を強いられたり、非情な実態があった。この戦争の経験からわかったことは、『軍隊は庶民を守らない』ということ。戦後、憲法9条を持った日本が今やるべきは、戦争や紛争の仲介役の先頭に立つこと。岸田政権は、戦争反対の意思を示さず、大軍拡増税を押し進めようとしている。

ンによつこそー」とあいさつをした後、合唱、紙芝居「平和をつくるレシピ」を披露、参加者から拍手がおきました。都議会議員（日本共産党）の齊藤まりこさんは、イスラエルとガザの現状と国連での日本政府とアメリカの対応の問題などを指摘し、日本政府はイスラエルの蛮行を批判し、「即時停戦の努力をさせるように一緒に声を上げていこう」と訴えました。デッキを通った若い人たちが中・高校生たちも一緒に歌うなど、その空間を共にし、平和の願いを交流・共有でき、楽しいアクションとなりました。（事務局長）

くらしのなんでも相談会 深刻な暮らしの実態次々と

居相談会と合同での開催。なんでも相談には11件、都住

11月5日（日）、今年3回目の開催となる「くらしのなんでも相談会」が東綾瀬住区センターで開催されました。社会保障やくらしと営業を守る足立連絡会などで行う実行委員会の主催で、足立生活と健康を守る会の都営住宅入



今年度3回目の相談会

入居相談には9件の相談がありました。◆53歳女性Ⅱ父91歳と二人暮らし。父を自宅で介護しているため働けず、収入は父の年金（月

た。おしゃべり交流会では「男性から相談が来た時どのように対応しているのか」の質問に、「話を聞いてホワイトボードに書きます。男性はホワイトボードを見つめ、ご自分で考えを整理してすっきりして帰ります」「私は、女性、男性から話を聞くだけです」。感想文では「清田さんがこれまで受けた相談から、ジェンダーに結び付けてわかりやすい言葉で話してくださり、あっという間の時間でした。ボキャブラリが



豊富で、おもしろく興味深く聞くことができました。大学の先生じゃないのが良かった」「男性が安心して自分のことを話す社会になり、その中の気づきが大切だと思いました」「清田さんは、押しつけや圧のない話しやすい人、まさに、おしゃべりから始まるジェンダーを気軽に実践している方と受け止めました」などの感想が寄せられ、若い人たちが参加しやすい良い企画でした。世話人（世話人）

額9万円）のみで生活困窮との相談。↓都営住宅の入居申し込みや生活保護申請についてアドバイスを行いました。寄せられた相談内容からは、物価高騰の深刻な影響、年金だけでは食べていけない高齢者、非正規雇用の低賃金の実態が浮き彫りになっています。実行委員会ではこれまでの相談会に寄せられた区民の生活実態をもとに、2024年度足立区予算への政策要望をまとめ足立区へ提出、12月1日（金）には副区長への要請・懇談を実施しました。（代表世話人）

第8回「足立不戦のつどい」

武蔵大学 教授 永田浩三さんが講演

12月8日の太平洋戦争開戦の日に、第8回「足立不戦のつどい」が北千住・天空劇場で開催され、134人が参加しました。武蔵大学教授の永田浩三さんが「テレビのどがおかしいか」市民の手でメディアを育てよう」と題して講演しました。

パレスチナ・ウクライナ 問題の本質

イスラエルによるガザへの攻撃と市民の被害が繰り返されている。イスラエルにはガザの人々をシナ



エルにはガザの人々をシナ



イ半島に追いやるというシナリオがあり、これは民族浄化の戦争だ。

ロシアのウクライナ侵略を歴史の文脈からみる。ハルキウの橋の下へ避難する人たちは、沖繩のガマに隠れる人と重なり、マリウポリの破壊された教会は浦上天主堂を思い出させる。沢山の人々が虐殺され、家族を失った。原発への攻撃には、福島からもヒロシマ・ナガサキの被爆者からも、非難の声が上がった。

強まるメディアへの 統制と弾圧

自民党の裏金問題が明らかになった。パーティー券を通じ政治と企業の癒着がノーチエックで続いてきた。オスブレイ墜落を不時着水と言ひ、福島汚染水を処理水と言ひかえる。米軍や政府のいいなりに用語を統一するのは言葉によるメディア統制だ。

昨年3月に小西洋之参議院議員が、総務省のテレビ局威嚇を告発した。高市早苗総務相は

「一つの番組でも政治的に公平でなければ放送局の電波停止もある」と脅した。NHKでは2018年に「かんぽ生命」の不正販売を取りあげたが、日本郵政副社長がNHK会長に圧力をかけて、第2弾の放送を1年以上も止めた。メディアへの露骨な弾圧が続いている。

地域から平和を！ 民主主義を！

メディアは世の中がおかしくなっていることに警鐘を鳴らすカナリアだ。ジャーニーズ問題ではNHKリハーサル室の隣の部屋で性加害が行われた。事務所を慮って報道を控えてきたならば、政治に屈するのと同じことだ。メディアがこの問題を暴かなくてどうするのか。

70年前に杉並で地元の魚屋さんが声を上げ、保守の女性たちも署名をして原水禁運動が始まった。杉並ではこの間選挙で3連勝している。投票率が5%上がったこと、地域で地道に勉強会を続けたことが勝利に繋がった。

永田さんは「党派を超えて市民が動いたときに政治は動く」と強調し講演を終えました。会場で2万7千円を超えるガザ支援募金が集まりました。

(事務局)

子どもを殺すな！ STOP、ガザ攻撃！ 即時停戦を！

足立東部地域集会&パレードに100人



寒さも緩んでスッキリと晴れ渡った青空の下、80名の人々がプラカードを持って東綾瀬公園に集まりました。

参加者からは、「本当にこういう集会をやりたかった。イスラエルも、パレスチナも本当は戦争なんかやりたくない。病院、学校が壊される。日本の政府はどうして発言しないのか」

「80年代のイラク戦争を思いだしました。ガザへの攻撃をやめよう、すぐに停戦を！と声を上げよう」「政治

は変えられるか?! アウシュビッツでは、子どもが116人犠牲に。ガザでは120人以上がハクリン弾が使われて地獄になっている。少しでも関心を持って自分たちの意義を伝えていこう」「オスブレイが屋久島沖で墜落炎上。停戦・地球環境を守っていこう」と参加された方の声です。

集会後、綾瀬駅前のハト公園までパレードをしました。

「子どもを殺すな」「市民を殺すな」「攻撃するな」「国際法を守れ」「停戦に応じろ」のシュプレヒコールが綾瀬の町・講演・住宅に響きわたりました。パレードを見ていた親子が手を振っていました。行進に参加した人は100人になっていました。

主催した会には、毎月1回19日に、亀有駅と綾瀬駅とで交互に宣伝を行っています。

集会中も羽田を飛び立った旅客機が2分おきに飛来し、その半数以上が機体が大きく見えます。航路変更の影響なのか？

(東部の会)

1月8日(日) 10:00~11:00 「20歳のつどい宣伝」 東京武道館付近
毎月21日 9:50~10:50 「原水協お大師様宣伝」 西新井大師駅前